

(別紙2)

令和6年度上期「米子市伯耆古代の丘公園」モニタリング評価表〔令和7年2月〕

施設名	米子市伯耆古代の丘公園	
施設所管課	総合政策部 淀江振興課	
指定管理者名	団体名	一般財団法人米子市文化財団
	所在地	米子市末広町293番地 米子市文化ホール内
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
選定方法	公 募 ・ 非公募	
施設の設置目的	本市固有の優れた歴史遺産を生かし、市民の歴史に関する意識の向上及び歴史教育の振興を図る。	
主な実施事業	米子市伯耆古代の丘公園の運営	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認 (60点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	A	聞き取り・報告書 ・年度協定等の規定人数以上の人員配置であり、適切な施設管理を行っている。 ・自ら障害物を撤去するなど、利用者の安全確保に積極的に努めている。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	報告書 ・職員の研修機会を設け資質向上に努めている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	聞き取り・報告書 ・利用促進のための広報に力を入れている。 ・利用促進のために自主事業も積極的に行っており、上期においては体験者数、収益ともに前年を上回っている。
2 利用者に関する業務			

(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※ 1	B	報告書 ・利用者は前年同時期と比較し、約 9.4%増加している。
(2) 利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	聞き取り・報告書 ・アンケート調査、来訪者への聞き取りを行っており、適切に要望把握に努めている。
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り ・限られた人員の中で適切に保守点検を行っている。
(2) 清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り・現地確認等 ・限られた人員の中で適切に清掃業務・維持管理を行っている。

(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	聞き取り・現地確認等 ・限られた人員の中で適切に行っている。
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	聞き取り・現地確認 ・限られた人員、予算の中で職員を中心により良い施設づくりに努めている。(蓮池通路の修繕等)
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	報告書 ・利用促進のために積極的に行っている。 ・周辺施設や他の管理施設と連携した取り組みを実施している。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	聞き取り ・適切に行われている。
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案	A	聞き取り

		は具体化されているか		・施設の修繕の提案も含め、利用促進についての提案も積極的に行っている。
Ⅱ サービスの質の評価 （２５点）				
1	利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	A	聞き取り ・利用者アンケートを実施しており、サービス向上に努めている。
2	維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	聞き取り・現地確認 ・限られた人員の中で適切に行っている。
3	運營業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	A	聞き取り ・利用促進、満足度向上のために様々な提案、事業を実施している。 ・アンケート調査でも約70%の利用者が職員対応を肯定的に評価している。
4	自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	聞き取り・報告書 ・質の高い事業を実施しており、アンケートでも好評を得ている。
5	施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	聞き取り・現地確認 ・限られた人員、予算の中で適切な管理を行っている。
Ⅲ サービスの安定性の評価 （１５点）				
1	事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※２	B	資料確認 ・上期で収支がマイナスとなっている主な要因は指定管理料の上期支払額の勾配が昨年と比べ変わったため。(約 260 万円減)

				・昨年度上期よりも支出額は減少している一方、自主事業の収入は増加している。
2	経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※3	B	資料確認 ・事業収支はマイナスだが、前述のとりの要因であり、外部委託費比率や管理コスト、自治体負担コストは低減している。
3	団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか ※4	-	-

【総評（所管課評価）】 ・公園を活用した様々なイベントを企画・実施し、公園のPRと利用者の増加に努めており、現に利用者は増加している。 ・施設の修繕や安全確保についても限られた人員、予算で可能な限り行っており、適切な管理がなされている。 ・施設利用者からの評価は高いものの、まだまだ認知度が低いなど広報、宣伝に課題があるため、市と協力してさらなる利用者増加に努められたい。	合計点 (73) 点/ (95) 点 $\times 100 = (77)$ 平均点 (3.8) 点
--	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は、評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

※合計点は小数点第1位を四捨五入、平均点は小数点第2位を四捨五入とする。

【補足資料】

1 利用状況

項 目	本年度〔令和6年4月～令和6年9月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和5年9月〕 B	対 比 A－B	対 比 A/B（％）	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	173	173	0	100.0	
施設利用者数	19,040	17,026	2,014	111.8	
施設稼働率	100.0	100.0	0.0	100.0	
事業開催数	29	27	2	107.4	

2 事業収支

（1）収 入

項 目	本年度〔令和6年4月～令和6年9月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和5年9月〕 B	対 比 A－B（円）	対 比 A/B（％）	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	0	0	0	0.0	
指定管理料	10,269,000	12,798,000	-2,529,000	80.2	
自主事業収入	426,840	342,507	84,333	124.6	開催事業数、参加者の増加のため
〇〇〇〇			0	0.0	
〇〇〇〇			0	0.0	
〇〇〇〇			0	0.0	
その他			0	0.0	
合 計	10,695,840	13,140,507	-2,444,667	81.4	

（2）支 出

項 目	本年度〔令和6年4月～令和6年9月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和5年9月〕 B	対 比 A－B（円）	対 比 A/B（％）	対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	6,434,547	6,126,919	307,628	105.0	
消耗品費	353,753	457,497	-103,744	77.3	実績減
光熱水費	779,742	748,756	30,986	104.1	
外部委託費	1,266,070	2,847,576	-1,581,506	44.5	前年度は合併浄化槽汚泥引抜等実績が増加していたため
修繕費	857,977	650,630	207,347	131.9	蓮池周辺通路の修繕、施設内のLED化等実施のため
通信運搬費	71,353	75,224	-3,871	94.9	
その他	1,113,961	1,069,963	43,998	104.1	
合 計	10,877,403	11,976,565	-1,099,162	90.8	

3 経営状況分析指標

項 目	本年度〔令和6年4月～令和6年9月〕 A	前年度〔令和5年4月～令和5年9月〕 B	対 比 A－B	対 比 A/B（％）	備 考
①事業収支	-181,563	1,163,942	-1,345,505	-15.6	
②利用料金比率	0.0	0.0	0.0	#DIV/0!	
③人件費比率	59.2	51.2	8.0	115.6	
④外部委託費比率	11.6	23.8	-12.2	48.9	
⑤利用者当たり 管理コスト	571.3	703.4	-132.1	81.2	
⑥利用者当たり 自治体負担コスト	539.3	751.7	-212.3	71.8	

①事業収支：（収入－支出）

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：（利用料金収入/収入×１００）

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：（人件費/支出×１００）

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：（外部委託費合計/支出×１００）

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：（支出/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：（指定管理料/延べ利用者数）

利用者１人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 団体等の経営状況（年度ごと下期に実施し、上期では行いません。）

項 目	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	備 考
①自己資本比率	5.7	55.5	61.2	54.6		
②流動比率	276.3	257	312.3	247.8		
③固定長期適合率	59.1	10.9	10.5	9.5		
④総資産経常利益率	-5.2	345.9	362.3	298.2		
評 価	（以上の指標を参考に評価する。）					

※貸借対照表と損益計算書を基に計算する。太枠内に今年度の数値を記載し、左側に過去4年分を記載する。

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

自己資本比率（%）＝自己資本÷総資産×100 【例】 $800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$

②流動比率

団体の短期的な支払能力を示す指標。1年以内に現金化できる資産を「流動資産」、1年以内に支払を要する負債を「流動負債」といい、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

流動比率（%）＝流動資産÷流動負債×100 【例】 $1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$

③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、又は換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

固定長期適合率（%）＝固定資産÷（固定負債＋自己資本）×100 【例】 $900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$

④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

総資本経常利益率＝経常利益÷総資産×100 【例】 $200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$

※補足資料1～4の各比率については小数点第2位を四捨五入とする。

■貸借対照表（例）

【資産の部】		【負債の部】	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	400	買掛金	400
受取手形	500	短期借入金	300
有価証券	200	流動負債合計	700
流動資産合計	1,100	固定負債	
固定資産		社債	300
建物及び構築物	200	退職給付引当金	200
土地	500	固定負債合計	500
投資有価証券	200	負債合計	1,200
固定資産合計	900	【純資産の部】	
		資本金	600
		利益剰余金	200
		純資産合計	800
資産合計	2,000	負債純資産合計	2,000

■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

特になし

6 利用者アンケートの結果

- ・約70%の回答者が施設に満足しているという肯定的な回答を得ている。
- ・施設の清潔さについても約70%の回答者が肯定的な評価をしている。
- ・有料でも来園したいというコメントもあり、満足度は高いと思われる。
- ・一方で、施設の存在を知らなかったというコメントや、県外からの来訪者が約25%に留まっていることからより一層のPRに努めていく必要がある。